

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																					
ホスピタリティツーリズム専門学校		昭和53年3月10日		内 菌 幸一		〒164-8550 東京都中野区東中野3-18-11 (電話) 03-3367-8111																					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																					
学校法人トラベルジャーナル学園		昭和53年3月10日		森谷 博		〒164-8550 東京都中野区東中野3-18-11 (電話) 03-3367-8111																					
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																				
商業実務	商業実務専門課程		観光科			平成27年文部科学省認定	—																				
学科の目的	国際感覚に富む有能な人材を育成し、旅行業に必要な知識・技能の習得とともに豊かな教養を備えた気力ある社会人を養成し、観光産業の発展に寄与することを目的とする。																										
認定年月日	平成27年2月17日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1768	1122	6	0	0	640 時間																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人		72	10	2人	15人	17人																					
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期内で2回(中間・期末)の筆記および実技試験を実施																						
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏 季: 8月1日～8月31日 ■冬 季: 12月18日～1月7日 ■学年末: 3月1日～3月31日			卒業・進級条件	卒業・進級共に 総授業時間数の80%以上の出席率 総単位数の80%以上の修得																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学生管理システムによる毎日の出席状況の把握、連続した欠席の場合には本人及び保護者へ連絡			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等日帰りバス旅行、国内旅程管理主任者研修、海外研修旅行 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 旅行業社またはその関連企業			主な学修成果(資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)																						
	■就職指導内容 就職対策として、書類の書き方、面接マナー指導、一般常識、数学・国語を中心とした基礎学力の学びなおしを実施。就職担当者による個別面談を定期実施。 ■卒業生数: 40 人 ■就職希望者数: 38 人 ■就職者数: 34 人 ■就職率: 89.5 % ■卒業者に占める就職者の割合: 85.0 % ■その他 ・休学者数: 3人 (令和 2 年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内旅行業務取扱管理者</td> <td>①</td> <td>41人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>国内旅程管理主任者</td> <td>③</td> <td>38人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>みんなの外国語検定ブロンズ</td> <td>③</td> <td>29人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	国内旅行業務取扱管理者	①	41人	5人	国内旅程管理主任者	③	38人	38人	みんなの外国語検定ブロンズ	③	29人	25人		
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
国内旅行業務取扱管理者	①	41人	5人																								
国内旅程管理主任者	③	38人	38人																								
みんなの外国語検定ブロンズ	③	29人	25人																								
中途退学の現状	■中途退学者 4名 ■中退率 4.6 % 令和2年4月1日時点において、在学者87名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者83名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、体調不良 ■中退防止・中退者支援のための取組 学生管理システムによる欠席状況の把握、出席率低下の学生に対し担任の面談、カウンセリングの講座を受講した講師(パディティーチャー)による面談																										
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・AO選抜奨学金制度: AO入学選考における合格者を対象に、5分間のプレゼンテーションによる自己表現力を面接評価、入学時の学費を30万円減額する制度 ・特待生制度: 入学時の筆記試験(英語15問、一般常識35問)の成績上位者に対して最大100万円の授業料を減額 ・英語資格取得奨学金制度: 入学までに英検順2級、TOEIC450点以上取得された方に対して最大20万円の授業料を減免 ・長期留学制度奨学金: 1年次と2年次の間に本学園のアメリカシトル校への長期語学留学(1年間)を利用される方に対し、留学時の学費を約61万円減額する制度																										

第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) 学校関係者評価報告書(PDF) <a href="https://trajal.jp/pdf/2019_THTC_kankeisha.pdf">https://trajal.jp/pdf/2019_THTC_kankeisha.pdf</a>
----------------	--

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学の教育課程を客観的に検証し、意見や指摘を受け、それらを教育課程に反映し、即戦力となり得る実務知識や技術技能の教授を行い、業界の発展に必要な人材の育成に寄与する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長直轄の委員会であり、本学教務部にて編成された教育課程に対し、業界や企業の知見をもってアドバイスや指摘、修正、追認を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
松本 隆司	一般社団法人日本外航客船協会 常務理事	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	①
西田 淳一	一般財団法人みんなの外国語検定協会 理事	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	①
藏本 健	コンラッド東京 副総支配人 人事業務担当	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	③
川淵 晶子	株式会社ツカダ・グローバルホールディング 人事部人事開発担当 シニアマネージャー	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	③
平石 英男	株式会社サンリオエンターテイメント サンリオピューロランド営業部 サンリオピューロランド営業課 係長	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	③
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 人事部 人事課 マネージャー	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	③
中島 隆博	東武鉄道株式会社 人事部 課長補佐	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	③
内菌 幸一	学校法人トラベルジャーナル学園 ホスピタリティ ツーリズム専門学校 校長	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	
岸本 信夫	学校法人トラベルジャーナル学園 ホスピタリティ ツーリズム専門学校 専務理事	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	
宮崎 智恵	学校法人トラベルジャーナル学園 ホスピタリティ ツーリズム専門学校 第一教務部長	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	
高須 一心	学校法人トラベルジャーナル学園 ホスピタリティ ツーリズム専門学校 第二教務部長	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。  
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年11月16日 16:00～17:30

第2回 令和3年3月15日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

観光科のカリキュラムに大きな変更はなく、引き続き2年間で8回学びの旅を行い、旅行業界に必要とされるスキルを醸成する方向性に了承をいただいた。旅を通して何度も自分たちで企画～添乗を繰り返し、実際に現場ですぐに活躍できるような学生を育てる。旅行業界もオンライン化にシフトしていくため、よりオンライン化に対応できるスキルを身に着けさせるべきとのご意見をいただいた。授業内容については、資格に特化せず、これからの旅行のスタイルに合わせて視野を広く学び、現場に出たときに実際に「動ける」、「作れる」、「提案できる」授業編成に変更していくこととした。クルーズに関する授業を2020年度から導入しクルーズを近く感じ、見ながら学ぶカリキュラム構成になっているが、新型コロナウイルスの影響でほとんど実施ができておらず、来年度へ実施を持ち越し、改めて内容について精査していく。観光科としてさらなる語学力、コミュニケーション力の向上の必要性についてご意見をいただいた。授業だけに落とし込むのは難しいため、アダプティラーニングで学習できる仕組みを検討することとした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により、旅行会社または関連企業で旅行業務に携わることで、学生の就業意欲を高めると同時に、就業時に即戦力として働ける能力を育成する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

中野区、館山市、株式会社農協観光と連携し、千葉県館山市の地域おこしを主眼としたツアー商品研究、プログラムの作成、ツアー運営およびその指導を連携し、3月にツアー催行した。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ツアープランニング演習	「旅行商品を通じた地域活性」をテーマに、旅行会社ならびに自治体と連携し、学生自らが観光資源の視察、旅行商品の企画と募集、催行(ツアーのサポート)までを一貫して行う	中野区なかの里・まち連携体験交流事業、株式会社農協観光、千葉県館山市
アウトバウンド研究	海外旅行の魅力をお客様にどう伝えるかを、観光業従事者の視点で考え、集客促進を目的とし、海外旅行の行程作成および見積作成し、販促ツールを制作しプレゼンする。	株式会社エイチ・アイ・エス
ツアーコンダクター演習	添乗業務に必要となる国内旅程管理主任者の資格取得を目指し、実際の観光バスに乗りし、観光地との調整や誘導案内、精算等を実体験する。	株式会社ツーリストエキスパーツ
世界遺産 ツアープロジェクト	世界遺産を軸にしたテーマ性のある旅行商品について学び、京都の世界遺産を主軸にしたツアー企画した。	株式会社MKトラベル
旅行業界研究	海外でのオンラインツアーの実情やオンラインツアーの企画についてを学び、マレーシア・ベトナムを舞台に、お客様に販売するツアー提案を行った。	株式会社SMITラベルジャパン

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記  
 本学の教職員は、教員向けマニュアル「教務要覧」に基づき、個人研修・集合研修の受講または専門分野の研究を行い、自己啓発または能力の向上に努める。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ヨーロッパオンラインツアーセミナー」(連携企業等:株式会社ミキ・ツーリスト)  
 期間:2021年3月24日(水) 対象:観光科専任及び兼任教員  
 内容:ヨーロッパにおけるオンラインツアーの実施方法などについての見識を深めるべく、現地ツアーオペレーターにチェコ・プラハでのオンラインツアーセミナーを実施いただいた。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「観光科企業向け公開授業」(連携企業等:(エアトリ、小田急トラベル、京王観光、クルーズのゆたか倶楽部、プレナスツアー、阪急トラベルサポート)  
 期間:2021年3月15日(月) 対象:観光科専任及び兼任教員  
 内容:観光科昼間部1年生の授業「ツアープランニング演習」を業界企業人向けに公開授業を実施した。6社9名に授業を參觀いただき学生の様子のみならず、教授法、授業教材についてフィードバックをいただいた。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「旅行業務取扱管理者新学学期準備研究会」(連携企業等:株式会社JTB総合研究所 観光教育事業部)  
 期間:2022年3月 対象:観光科専任及び兼任教員、他校教員  
 内容:旅行業務取扱管理者試験を受験する学校が集まり、約款等改訂箇所の確認や情報交換を行い、試験に向けた傾向と対策の検討を行う。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「イノベーション研修」(連携企業等:株式会社マックスマネジメント)  
 期間:2021年6月22日(火)、9月17日(金)、10/19(金)、2022年1/28(金)※合計4回実施 対象:観光科教務責任者を含む学園から14名  
 内容:イノベーションについて自己課題を明確にし、今後の事業・業務の革新につなげる研修を実施。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学の教育行為を客観的に検証評価し、改善点を見出し、教育機関として特色のある学校づくりに取り組み、有為の人材を業界に送り出し、業界の発展に貢献する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念 目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学修成果における就職率向上について就職指導については、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、採用ならびに求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っている。2019年度の就職希望者に対する就職決定率は100%、卒業生数に対する就職決定率は98%と高水準を維持していることを評価いただいた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
松本 隆司	一般社団法人日本外航客船協会 常務理事	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	企業等委員
西田 淳一	一般財団法人みんなの外国語検定協会 理事	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	企業等委員
藏本 健	コンラッド東京 副総支配人 人事業務担当	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	企業等委員
川淵 晶子	株式会社ツカダ・グローバルホールディング 人事部人事開発担当 シニアマネージャー	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	企業等委員
平石 英男	株式会社サンリオエンターテイメント サンリオピューロランド営業部 サンリオピューロランド営業課 係長	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	企業等委員
塩入 康夫	ANAエアポートサービス株式会社 人事部 人事課 マネージャー	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	企業等委員
中島 隆博	東武鉄道株式会社 人事部 課長補佐	令和2年10月1日～令和3年9月30日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL: <http://www.trajal.jp/>

公表時期: 令和2年8月25日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページでの情報提供を主とし、企業と連携した様々な教育活動への協力依頼ならびに求人依頼の企業訪問時に適宜説明する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校案内
(2) 各学科等の教育	学科紹介
(3) 教職員	学科紹介、教職員紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職、企業採用担当の皆様へ
(5) 様々な教育活動・教育環境	学科紹介、学校案内、キャンパスライフ

(6) 学生の生活支援	経済サポート
(7) 学生納付金・修学支援	経済サポート、募集要項
(8) 学校の財務	財務諸表
(9) 学校評価	学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	海外留学、海外インターンシップ
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・その他(入学案内書))

URL: <http://www.trajal.jp/>



授業科目等の概要

(商業実務専門課程観光科) 令和3年度															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○		キャリアガイダンス	自己PR作成、志望動機作成、面接演習など、就職活動に対応するため準備	1	60	4	○		△	○		○		
2	○		ビジネスプレゼンテーション	実務に必要なプレゼンテーション能力の基礎を学ぶ。	1	60	4	△		○	○			○	
3	○		ITビジネス	ワード、エクセル、パワーポイントなどビジネスソフトの活用方法を学習	2	60	4	△		○	○			○	
4	○		就職強化	非言語分野を中心に学習し、就職試験での筆記試験を突破できる力を身につけます。	1	60	4	○			○			○	
5	○		グループディスカッション	協調性をもって他者を知り、論理的に物事を考えられる力を身につけます。	1	30	2	△		○	○			○	
6	○		面接演習	採用試験時に重視される面接を突破する技能と心構えを学びます。	1	30	2	△		○	○		○		
7	○		ビジネスマナー	社会人としての基本的マナーを学び、様々な場面で役立てられる知識と技能を身につけます。	2	30	2	○			○		○		
8	○		業界英語	観光業界での使用頻度の高い会話や文章を中心に学び就業後に役立ってます。	1,2	120	8	△		○	○			○	
9		○	中国語	観光・旅行業界での使用頻度も多い第二外国語として中国語または韓国語を選択制で学習します。	2	60	4	○		△	○			○	
10		○	韓国語	観光・旅行業界での使用頻度も多い第二外国語として中国語または韓国語を選択制で学習します。	2	60	4	○		△	○			○	
11	○		旅行企業研究	主要旅行会社をはじめとした全国の旅行会社の特徴、売上高等の概要を学び、就職活動に活かします。	1	30	2	○			○			○	
12	○		訪日旅行	訪日観光客（インバウンド）への旅行商品の提案やニーズを捉え、実務に役立ってます。	1	30	2	○			○			○	
13	○		JR運賃料金	国内旅行の主要交通機関であるJR各社の運賃料金を学び、実務に役立ってます。	1	60	4	○			○			○	
14	○		旅行業法令	旅行業を営むうえでの必須知識である旅行業法や旅行業約款を学び、コンプライアンスを重視した対応に役立ってます。	1	60	4	○			○			○	
15	○		オンライントラベル	IT技術の基礎を学習したうえで、OTA（オンライントラベルエージェント）の手法や新規取り組みを学び、実務に役立ってます。	1,2	90	6	△		○	○		○	○	
16	○		世界遺産研究	世界遺産の成り立ちと概要について学習するとともに、世界遺産をメインテーマにした旅行企画を行います。	1,2	90	6	○			○		○		
17	○		添乗業務	国内旅行や海外旅行に添乗するツアーコンダクターの業務の流れについて学習します。	2	90	6	△		○	○			○	○
18	○		海外旅行実務	海外旅行販売の際に必要な出入国に関する法令知識および航空時刻表や時差計算などの実務知識を学習します。	2	90	6	△		○	○		○	○	

19	○	海外旅行文化	海外旅行の企画や販売の際に必要な世界の国々と都市、観光地や食事に関する知識について学習します。	2	60	4	○			○	○			
20	○	旅行産業	ツーリズム産業に関わるプロフェッショナルを招聘し、テーマに特化した企業の取り組みや、販売・企画の際に有益となる知識を学びます。	2	60	4	○			○	○		○	
21	○	団体旅行実務	お客さま特性や要望に合わせた団体旅行を企画・提案し、就業後に実践販売できる力を身につけます。	2	30	2	△			○	○		○	
22	○	イベントトラベル	国際会議（MICE）や業務旅行の学習を通し、依頼企業のニーズにこたえる力を身につけます。	2	30	2	○			○	○			
23	○	旅行素材研究	航空・鉄道・ホテル・テーマパーク等の旅行商品の素となる分野を学習し、お客さまのご案内に役立てます。	2	30	2	○			○	○		○	
24	○	国内観光地理	国内旅行の企画や販売の際に必要な各地域の観光地や郷土料理、交通機関などについて学習します。	1, 2	120	8	○			○	○			
25	○	海外観光地理	海外旅行の企画や販売の際に必要な世界の国々と都市、観光地や食事に関する知識について学習します。	1, 2	120	8	○			○	○			
26	○	旅行商品販売	対面販売時の接遇の基本から、販売時の提案手法等を学び就業後に役立てます。	1	60	4	○			○	○			
27	○	旅行業基礎	旅行業の成り立ちとあゆみから旅行業界を取りまく関連企業や今後の旅行業界の課題について学習します。	1	30	2	○			○			○	
28	○	ユニバーサルツーリズム	高齢者社会である日本において必要となるユニバーサルツーリズムについて、概念から旅行会社として必要な取り組み方までを学習します。	1	30	2	○			○			○	
29	○	国内旅行文化	国内旅行の企画・販売・添乗の際に、知っているのと差をつける事のできる日本の年中行事や寺社の参拝方法など、文化について学習します。	2	60	4	○			○			○	
30	○	ホスピタリティ入学研修（合宿研修）		1	12		△	○			○	○		○
31	○	入学オリエンテーション		1	12		○			○			○	
32	○	スポーツデー		1, 2	12					○			○	
33	○	就職セミナー		1	6					○	○		○	
34	○	パラスポーツ体験会		1, 2	6					○			○	
35	○	スピーチコンテスト		1	4					○			○	
36	○	始業式		2	4					○			○	
37	○	ホームルーム		1, 2	28					○			○	
38	○	卒業式前ホームルーム		2	4					○			○	
合計				38科目				1768単位時間（112単位）						

卒業要件及び履修方法	授業期間等
------------	-------

総単位時間数の80%以上の出席率、総単位数の80%以上の修得 学期内で2回（中間：40点満点・期末：60点満点）の筆記および実技試験を実施し合計60 点以上で単位認定	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。